

| | | | |
|------------------------|--|---------------------|---|
| 演題名 | 老健オアシス21における脱オムツの改善率向上 | | |
| 施設名 | 介護老人保健施設オアシス21 | (ふりがな) 発表者(職種) | かじ ゆきな 梶 幸奈 (介護福祉士) |
| (ふりがな) チーム名 | ちようきようかがたろうけん やくわり なん ～超強化型老健の役割って何だろう パート4～ | | |
| 分類 | ①診断・治療・ケアの質の向上をめざすもの | | |
| 取り組種別 | 問題解決型 | | |
| 改善しようとした 問題課題 | R3年4月介護保険LIFE導入。排泄ケアについて見なおす機会となった。 紙パンツ着用率は健育会グループ老健比較と全国老健比較ともに当施設が高く自立支援にともなった排泄ケアができてきているのか問題となった。 | | |
| 改善の指標と その目標値 | (指 標) 失禁なく又は失禁少量しかない利用者の紙パンツ着用23名のセルフケアが可能なグループから (目標値) 脱オムツ着用を10名達成することを目標とした。 | | |
| 実施した対策 | ①不安対策:ホクサーパンツモニター体験。新骨盤底筋体操導入 ②失禁ケア備品:布パンツと小尿とりパット新規管理。購入システムづくり。 ③職員意識対策:職員と利用者アンケートを元にグループワーク。 ④排泄アセスメント:NEW排泄指針。排泄マニュアル更新。研修。 | | |
| 改善指標の 対策実施 前後の変化 | (実施前) セルフケアグループにおける脱オムツを0名 (実施後) セルフケアグループにおける脱オムツを12名へ目標達成。 | | |
| 歯止めと 標準化 | ①標準化:排泄ケア計画は排泄委員で28日/月。骨盤底筋体操は介護体操担当者動画視聴。1回/年 ②教育:排泄ケア指針排泄委員が朝礼唱和。見直し1回/年 排泄自立支援・尊厳研修1回/年 ③管理:ホクサーパンツ希望時師長購入。4月補充。さわやかパット排泄委員1回/月請求 | | |
| 活動の種類 ※複数選択可 | ②複数の職場が連携した活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動 | チーム メンバー (職種) | 1 菊地 俊介 介護福祉士 2 糟谷 三千子 介護福祉士 3 梶 幸奈 介護福祉士 4 永井 裕太 理学療法士 5 長谷 奈々子 管理栄養士 6 小田 敏江 介護支援専門員 7 近藤 純子 看護師 8 桑原 千秋 看護師 9 柿崎 利恵子 看護師 |
| 活動の場 ※複数選択可 | ①診療部門 ②支援部門 ④その他 | | |
| 活動期間 | R3年4月 ～ 12月 | | |
| リーダー名 (職種) | 菊地 俊介 (介護福祉士) | | |
| 活動回数 | 12 | | 回 |

【テーマ選定】



老健オアシス21における
脱オムツの改善率向上



テーマ選定

| テーマ | 取組み しやすい ×1 | 多職種 連携 ×1 | 評価し やすい ×1 | 部門 目標・ 理念 ×2 | 利用者 満足度 向上 ×2 | 重要 項目 ×2 | 総合 得点 |
|------------|-------------------|-----------------|------------------|-----------------------|------------------------|----------------|----------|
| 老健 役割 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | ◎ | ◎ | 3.4 |
| 皮膚変色が多い | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 3.7 |
| レグレションが少ない | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 3.5 |
| 飲水量は適切か | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 3.3 |
| 認知ケアの実践教育 | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 3.3 |
| オムツ着用者多い | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 4.1 |
| 自立者への舌苔が多い | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ | 3.7 |

今年度のテーマ
に決定！！

テーマ選定

健育会グループ5つ老健のオムツ使用状況表



テーマ選定

在宅強化型退所困難者の在宅阻害因子（複数回答）



テーマ選定 令和3年は介護保険LIFE導入！

ムリ・ムラ・ムダに紙パンツを使用していないか

適切な排泄ケアか？



老健の役割は？

排泄における自立支援を見直す！

活動計画

| 実施項目 | ステップ リーダー | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|
| テーマ選定 | QCメンバー | → | → | | | | | |
| 現状把握 | 菊地介護士 | → | → | | | | | |
| 目標設定 | QCメンバー | → | → | | | | | |
| 要因分析 | 永井PT | → | → | → | | | | |
| 対策立案 | 桑原NS | → | → | → | → | | | |
| 対策実施 | 観介護士・徳本介護士 | | | | → | → | → | → |
| 効果の確認 | 長谷栄護士 | | | | | → | → | → |
| 標準化 | 柿崎NS | | | | | → | → | → |
| 反省と今後の課題 | QCメンバー | | | | | | → | → |

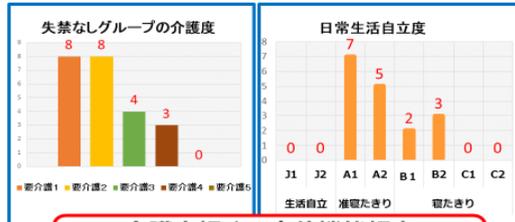
現状把握 失禁状態とオムツ種類別でグループ化



失禁なし又は失禁少量にて紙パンツ着用者
23名あり！！このギャップに着目

現状把握 層別

失禁なし紙パンツグループの要介護度



現状把握 層別



目標設定

| | |
|-------|---------------------------|
| なにを | セルフケアグループ における 脱おむつ |
| いつまでに | 令和3年10月30日まで |
| どうする | 利用者0名→ 10名 増やす |

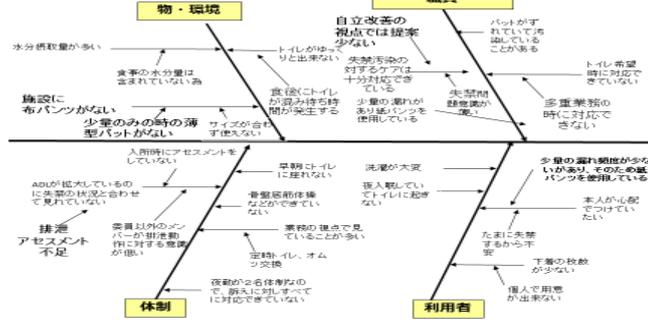
目標根拠は、超強化型老健の指標の1つであるベッド回転率10%に合わせ10名の利用者にアプローチをしようという目標を設定

【要因解析】

脱オムツとは

- ただ単に紙パンツをはかない。
- 布パンツのみを着用していることだけでは、
- 自立や尊厳の観点から、**小パットを自力で交換**できることも含める
- 脱オムツのキゼン活動は利用者の満足度が図れるよう**最大限の配慮**が必要である。

<要因解析>



なぜオムツをしている人が多いのか

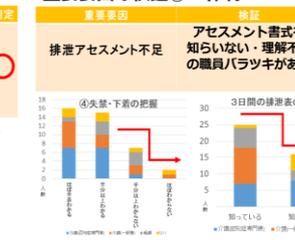
重要要因の検証① 利用者



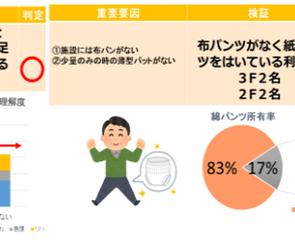
重要要因の検証① 職員



重要要因の検証① 体制



重要要因の検証① 物品・環境



失禁の不安が強い

失禁ケア>自立支援

排泄アセスメント不足 ○

布パンツがない

対策の立案

| 特性 | 重要要因 | 一次対策 | 二次対策 | 三次対策 | 効果持続点 | 採 | 業 | 実 | 施 | 点 | 度 |
|-----------------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------|---|---|---|---|---|
| なぜ紙パンツをはいている利用者が多いのか? | 失禁の不安が強い | 失禁に対する不安の軽減対策 | 失禁対策として日常的にできる体操を導入する | 体操(ハイク)体操の自主導入 | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | 排泄における不安の内容を職員が知る | 失禁対策として日常的にできる体操を導入する | 体操(ハイク)体操の自主導入 | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 排泄自立改善の視点が弱い | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | 失禁汚染時の排泄ケア変更の提案はあるが、自立改善の視点では提案少ない | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 排泄アセスメント不足 | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | 排泄アセスメントを職員に普及する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 施設に不足 | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 施設に不足 | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | 布パンツ、薄型パットを準備する | ◎◎◎◎◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

対策実施

| なぜ | いつ | どこで | 誰が | 何を | どうする |
|---------------------|--------------|-----|---------------------|----------------------|------------------|
| ①利用者の不安軽減 | 8月1日から開始 | 棟内で | 水島、吉嶋 | 骨盤底筋体操等 | 日常化する |
| ②排泄時の利用者の思いを知ってもらう | 7月14日～21日 | 棟内で | 排泄委員会全員 | 利用者アンケートの結果を | グループワークする |
| ③排泄ケアの方針を理解する | 7月1日～8月10日まで | 棟内で | 排泄委員会とTQMメンバー | 排泄ケアの指針を | 作成し、周知する |
| ④定時トイレ確保を促す | 8月1日から | 棟内で | 排泄委員会とTQMメンバー、徳島、福田 | 定時の排泄ケアの | 確保が徹底できるように |
| ⑤排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑥オムツの必要性と脱オムツ支援策を知る | 8月1日から | 棟内で | 担当医師、看護士、山田、橋本、吉嶋 | オムツの必要性(自立)と脱オムツ支援策を | 説明する |
| ⑦排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑧自立支援の知識を全職員が知る | 7月19日から | 棟内で | 排泄委員会 | 自立支援についての | 研修(グループワーク)を行う |
| ⑨排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑩排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑪排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑫排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑬排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑭排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑮排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑯排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑰排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑱排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |
| ⑲排泄ケアの専断について把握する | 7月15日～31日まで | 棟内で | CS委員会とTQMメンバー、池澤 | 排泄ケアの専断について | 把握し、グループワークを実施する |

対策実施

利用者の失禁に対する不安の軽減対策

- 新骨盤底筋体操の実施 風の曲でわっしょい♪
- ボクサーパンツのモニター体験(・▽・)イイ!!

対策実施

失禁ケアに対する備品対策

- 新たにボクサータイプ布パンツ、少量タイプ尿パットの備品を購入し施設備品。
- ボクサータイプは個人購入できるようにシステム化

対策実施

職員の排泄自立ケアに対する意識強化対策

- グループワーク ①排泄尊厳②自立支援の実施

対策実施

排泄アセスメント強化対策

理念を基準 NEW

オアシス2 1排泄ケア指針

- 1 尊厳: 私たちは利用者さんの尊厳に配慮しながら「その人らしさ」を尊重し支援します
- 2 個別性: 私たちは利用者さんの希望や状態に応じたケアを行い、QOLを上げた生活が送れるよう支援します
- 3 自立支援: 私たちは利用者さんの主体性「出来る能力」を引き出すよう、職員一人一人の職の向上に努めます

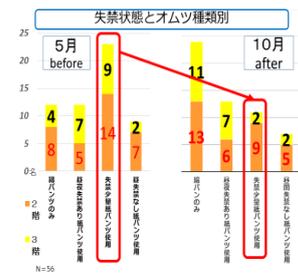
対策実施

排泄アセスメント強化対策

グループワークで出た課題から、「やさしく、気持ちのいい排泄ケア」として当施設理念から排泄ケア指針を作成。排泄マニュアルすべて更新。ボクサーパンツ体験モニターで脱オムツ促進

【効果の確認】

効果の確認① ○有形効果



目標達成

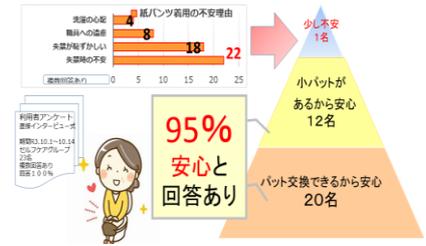
なにを **セルフケアグループ** における **脱おむつ**

いつまでに **令和3年10月30日まで**

どうする **利用者0名→12名増!**

目標根拠は、超強化型老健の指標の1つであるベッド回転率10%に合わせ10名の利用者にアプローチをしていこうと目標を設定

効果の確認 波及効果 (満足度)



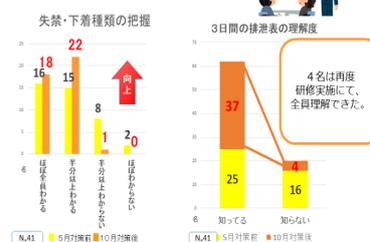
失禁なし又は失禁少量のオムツ着用者23名→11名に減り、脱オムツは12名達成。脱オムツ後も満足度95%。

効果の確認 無形効果



低かった排泄自立意識向上
失禁ケア意識はさらに向上。

効果の確認 無形効果



下着種類の把握向上
排泄表の理解も向上。

効果の確認 有形効果



布パンツにしたことで紙パンツ代が節約となった

歯止めと標準化

| 目標なぜ | 項目何を | 担当者誰が | 場所どこで | 方法どのように | 期間いつ |
|------|---------|-----------------|-------|-----------------------|-------------|
| 標準化 | 排泄ケア計画 | 排泄委員会・プライマリー | 棟内 | アセスメント後、LIEF入力。 | 毎月28日まで |
| | 骨盤底筋体操 | 排泄委員会体操担当者 | 棟内 | 動画視聴(新人教育プログラム導入) | 入職時 年1回 |
| 教育 | 排泄ケア指針 | 新人教育担当 排泄委員会 | 棟内 | 見直し。 朝礼で唱和し掲示 | 年1回 月1回 |
| | 職員研修 | 排泄委員 | 棟内 | 排泄の自立支援・尊厳研修(グループワーク) | 年1回以上 5月 |
| 管理 | ポクサーパンツ | 師長、各介護主任 | 棟内 | 希望時、マニュアルに沿って購入 | 希望時 4月補充 |
| | さわやかパット | 排泄委員会 | 棟内 | 毎月在庫チェックし 第1火曜日請求 | 毎月 |

歯止めと標準化の評価



反省と課題

| 手順 | よかった点 | わかった点 | 今後の進め方 |
|-----------|---|--|--|
| テーマの選定 | LIFE導入期になり、尊厳のあるやさしい排泄ケアの視点をもちテーマに挑めた | 脱オムツが先行し、排泄ケアの落としどころのテーマが決まらず時期を要した。 | 最初に脱オムツという手段を入れず、排泄ケア改善の活動を続けていく |
| 現状把握と目標設定 | 当施設の排泄ケア状況を法人グループと全国老健と比べて悪化が把握できた | 入所者が退所してしまうため前後の人数を退所者分削除するなど人数データ確保が大変であった。 | 超強化型老健の役割を自覚し今後も5つの役割の中から活動継続していく |
| 活動計画の作成 | 排泄委員会を中心にそれぞれの役割・期間が明確になった | 感染発生もあり会議中止などTQM活動の出席率が低く進行も遅延した。 | 感染対策強化。ZOOMや分担活動などで活動の進行を図る |
| 要因の解析 | 要因分析を4項目からだし各項目別目的を絞れた | 問題意識が脱オムツに向けた為フィッシュボーンは2回実施も意見が乏しい。 | 聞かれた質問をするなど工夫して更に深く掘り下げていく |
| 対策の検討と実施 | 当施設理念をもとに、尊厳・個性・自立支援という排泄ケア指針ができたことで、より利用者本位を重視できた。 | 14項目の対策となり、進行具合や達成度の確認が大変であった。特に対策の骨盤底筋体操の実施やマニュアル作りは遅延した。 | 排泄ケア理念の啓発を排泄委員会ですべて実施。対策は絞って、優先順位をつけ、リダーとサブリーダー制で進めていく |
| 効果の確認 | 利用者の声(アンケート)を全職員に結果を確認し尊厳、自己について振り返ることができた。 | 対策前後と比較できたが、グラフが単純化で悪化が見える化できていない。 | 一目で見える化ができるグラフ作成できるよう学習する |
| 標準化と管理の定着 | LIFEも始まり、排泄ケアマニュアルに業務進行フローもあり定着化を図った | 排泄自立者は62%にて全国平均に近づいたがまだ-4.7%であった | 目標値を全国平均より改善し3か月後に再評価を実施していく(排泄委員会) |

【おわりに】

利用者アンケートにて、我々の想像以上に職員への遠慮や、トイレを我慢しているという実際の声を聞くことができた。職員グループワークでは、失禁はよく気にしていたが、自立支援の視点が不足であった事がわかった。理念をもとに、オアシス21排泄ケア指針にて「尊厳、個性、自立」について支援することを宣言し、やさしく、気持ちのよい排泄と自立支援を目指し今後も活動を続けていきます。

オアシス21TQM&排泄委員会

